

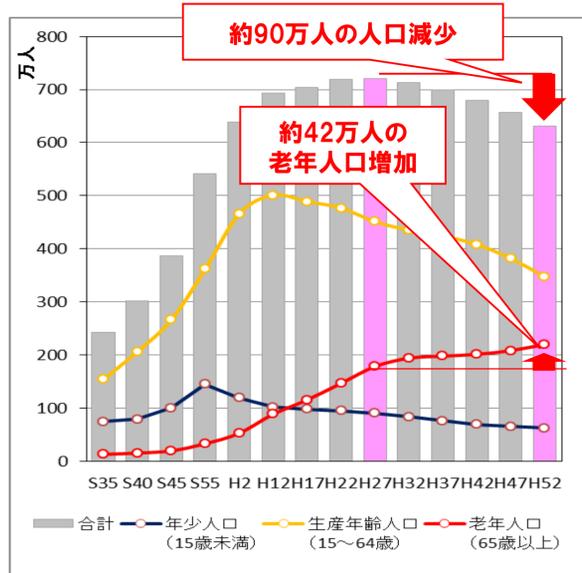
埼玉県における「出歩きやすいまちづくり」推進に向けた取組

～バスでつなぐ・人がつながる～

埼玉県 都市整備部 都市計画課

◆ 埼玉県の現状～少子・超高齢社会の本格化と公共交通の重要性

➤ 本格的な人口減少・少子高齢社会の到来

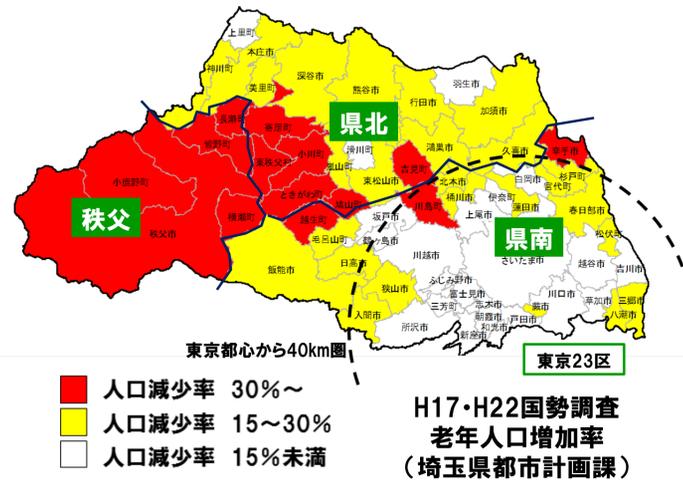


✓ 埼玉県人口 約728万人 (H28.6.1 埼玉県推計人口)

- 県人口は、平成27年頃をピークに減少
 - 25年後(平成52年度)には、約90万人の減少
 - 秩父、県北など36市町で全国平均(Ave5.8%)を超える人口減少

✓ 埼玉県の高齢化率(現状と推計)
H27:26.8% → H57:37.7%
(H27年版高齢社会白書(内閣府))

- 65歳以上の老年人口は引き続き増加
 - 25年後(平成52年度)には、約42万人の増加
 - 老年人口の増加は、都市部(県南)の人口集中地区で顕著



➤ 身近な公共交通網「バス」の重要性

鉄道路線
バス路線
市街化区域



✓ 鉄道駅数 224箇所
(H22年度埼玉県都市計画基礎調査)

✓ バス停留所数 約1万箇所
(H22年埼玉県バス協会)

✓ 駅1km圏内の住宅数の割合 : 約41%

✓ 駅1km圏外でバス停留所から500m圏内の住宅数の割合 : 約47%

(H25年住宅・土地統計調査)

✓ 急増する運転免許申請取消

H17: 1,707件

↓
H22: 3,048件

↓
H27: 19,073件
(H17比11.2倍)

返納件数は全国3位

(運転免許統計(警察庁))

バス交通は鉄道とともに
多くの県民の大切な交通手段



～プロフィール～

「何気なく歩いて『しまうま』ち」というまちの住人、しまのん。
“のん”びり道草をするのが好きなしまうまのおじちゃん。
道草の食いすぎですっかりメタボ体系になって
しまい、ぱっと見でシマウマだとわかってもらえないのが最近の悩み。
「シマウマ感がなくて、しま“NON”だけど、
頑張って歩くのん♪」が、しまのんのくちぐせ。

◆ 埼玉県の「出歩きやすいまちづくり」に向けた取組

➤ 人口減少・超高齢社会を迎え、中心市街地や公共交通沿線に都市機能を集積する集約型まちづくりが必要になっています。

➤ このため、公共交通を利用しやすくすることで誰もが出歩きやすく、地域とつながりやすいまちを目指し、官民が連携した「出歩きやすいまちづくり～バスでつなぐ・人がつながる～」事業として主に2つの取組を実施しています。

➤ 目的地にバスで行きやすい環境づくり

✓ バスマチスポット ⇒ 快適に安心してバス待ちができる！

✓ まち愛スポット ⇒ バス停まで一休みしながら歩ける！

✓ バス情報の集約と公開 ⇒ バスの情報が分かりやすい！
(オープンデータ化の推進と「よんdeバス」の展開)

◆ バス情報のオープンデータに向けた取組

バスロケ導入の推進から得られた課題

- 埼玉県バス情報システム「バスcoi(こい)」社会実験の実施(H25.12~H26.9)
 - ✓ バス事業者ごとにバスロケが異なり、使い方がわかりにくい、面倒という意見。
- 埼玉県交通政策懇談会(H26.2.5)
 - ✓ バスロケは利用者にとっては不可欠
 - ✓ 鉄道はすべての路線の時刻表も表示できるが、バスは各社ごとにネットワークしていない点が一番大きな問題。大きなプラットフォームが必要。

バス情報のオープンデータ化への検討

- バス事業者ごとの多くの情報を集約し、バス利用者に一元的に提供できないか？
- 集約した情報を広く活用することで、バス利便性の向上が図れないか？

バス事業者との協定締結

- 西武バス株式会社、東武バス株式会社、株式会社ライフバスと協議検討し、H27.9にバス情報のオープンデータ化に向けた協定を締結
- H28.3に、上尾市(コミュニティバス「ぐるっとくん」)との協定締結
- H28度中の国際興業との協定締結に向け、現在協議中

➢ バス情報のオープンデータ推進と「よんdeバス」サービスの展開

- ✓ 各社ごとのバス情報を県が統合化し、だれでも利用できるオープンデータとして公開します。
- ✓ そのデータを、民間事業者などが、バスの乗り継ぎ、路線案内などのサービスに活用することにより、バスの利便性向上を目指します。

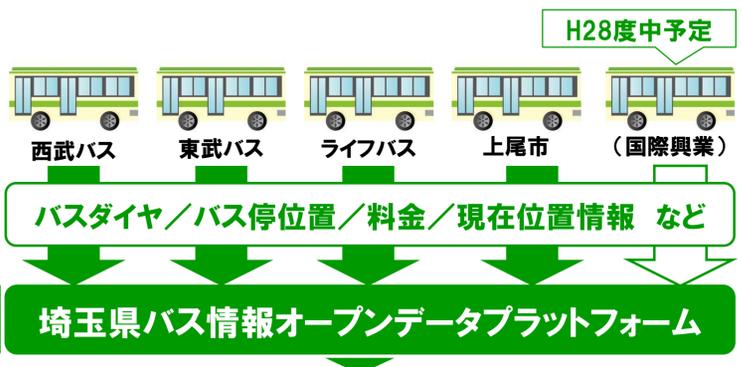
埼玉県バス情報案内サービス「よんdeバス」

オープンデータと携帯端末の位置情報取得機能(GPSなど)を利用し、「よんdeバス」のウェブサイトへアクセスするだけで、最寄りのバス停の時刻表とバスの到着予想時刻などがわかる。

ウェブサイトへアクセス

案内画面イメージ (左:最寄りのバス停案内/右:バス運行情報案内)

主要バス停などに、NFCやQRコードを利用して「よんdeバス」ウェブサイトへ簡単にアクセスできるステッカーを用意しています！



バス情報の自由な活用

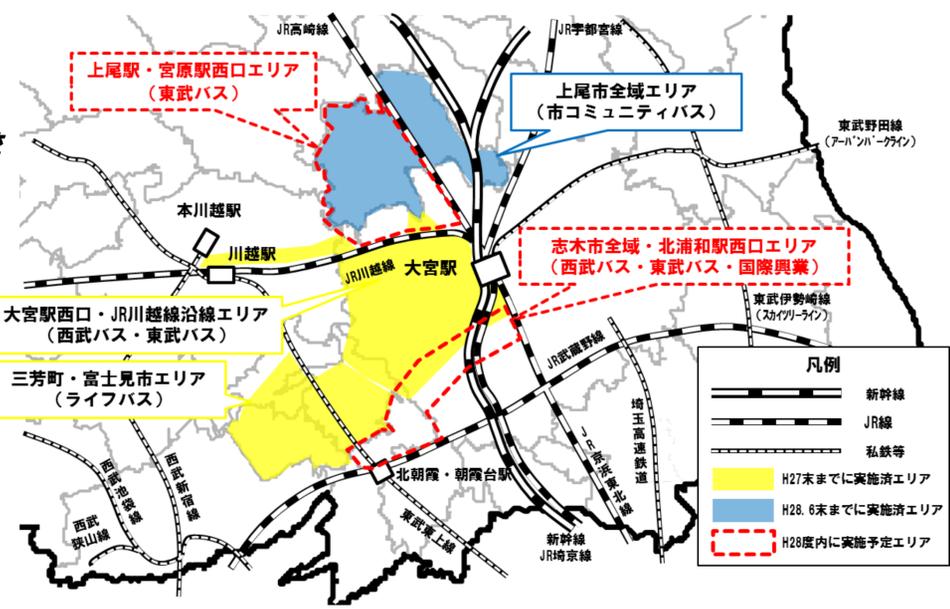
➢ バス利便性の向上のためなら誰でも自由に利用可能

想定される活用例)

- ・ 鉄道とバス等を組み合わせた乗換案内
- ・ 店舗等の情報端末によるリアルタイム情報の提供 など

➢ バス情報オープンデータの対象エリア(H28末見込み)

- ✓ 西武バス
 - ・ 大宮駅西口発着系統 (主にさいたま市区間)
 - ・ 北浦和駅・南与野駅発着系統 (さいたま市区間)
- ✓ 東武バス
 - ・ 大宮駅西口発着系統 (主にさいたま市区間)
 - ・ 上尾駅西口、宮原駅西口、指扇駅発着系統 (さいたま市・上尾市区間)
- ✓ ライフバス(全系統) (三芳町、富士見市等)
- ✓ 上尾市コミュニティバス「ぐるっとくん」(全系統)
- ✓ 国際興業
 - ・ 北浦和駅西口、さいたま新都心駅西口、南与野駅、志木駅東口、北朝霞駅発着系統 (主にさいたま市、志木市区間)



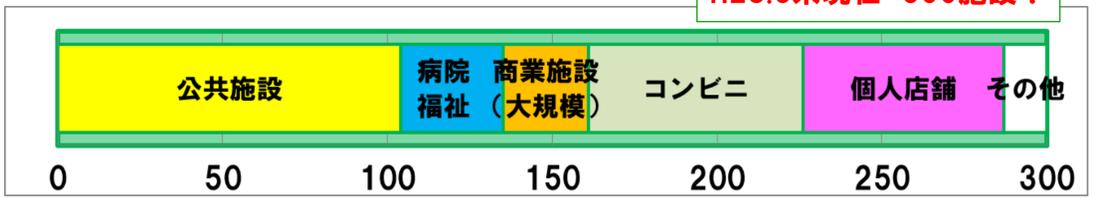
※斜体はH28度中の拡大予定エリア

◆ バスマチスポット・まち愛スポットの拡大

- 「バスマチスポット」とは・・・
- 条件①: バス停近くで、バスを気軽に待てる施設
 - 条件②: 時刻表を掲示or配布(県から提供)
 - 条件③: ステッカーを掲示(県から提供)
- 「まち愛スポット」とは・・・
- 条件①: 概ねバス停500m圏内で、歩く際に休憩できる施設
 - 条件②: ベンチや椅子を設置
 - 条件③: ステッカーを掲示(県から提供)



～施設利用者のご厚意によるものです～



提供いただけるサービス(トイレ利用、お茶などの提供等々)や利用時間は施設により異なります。

